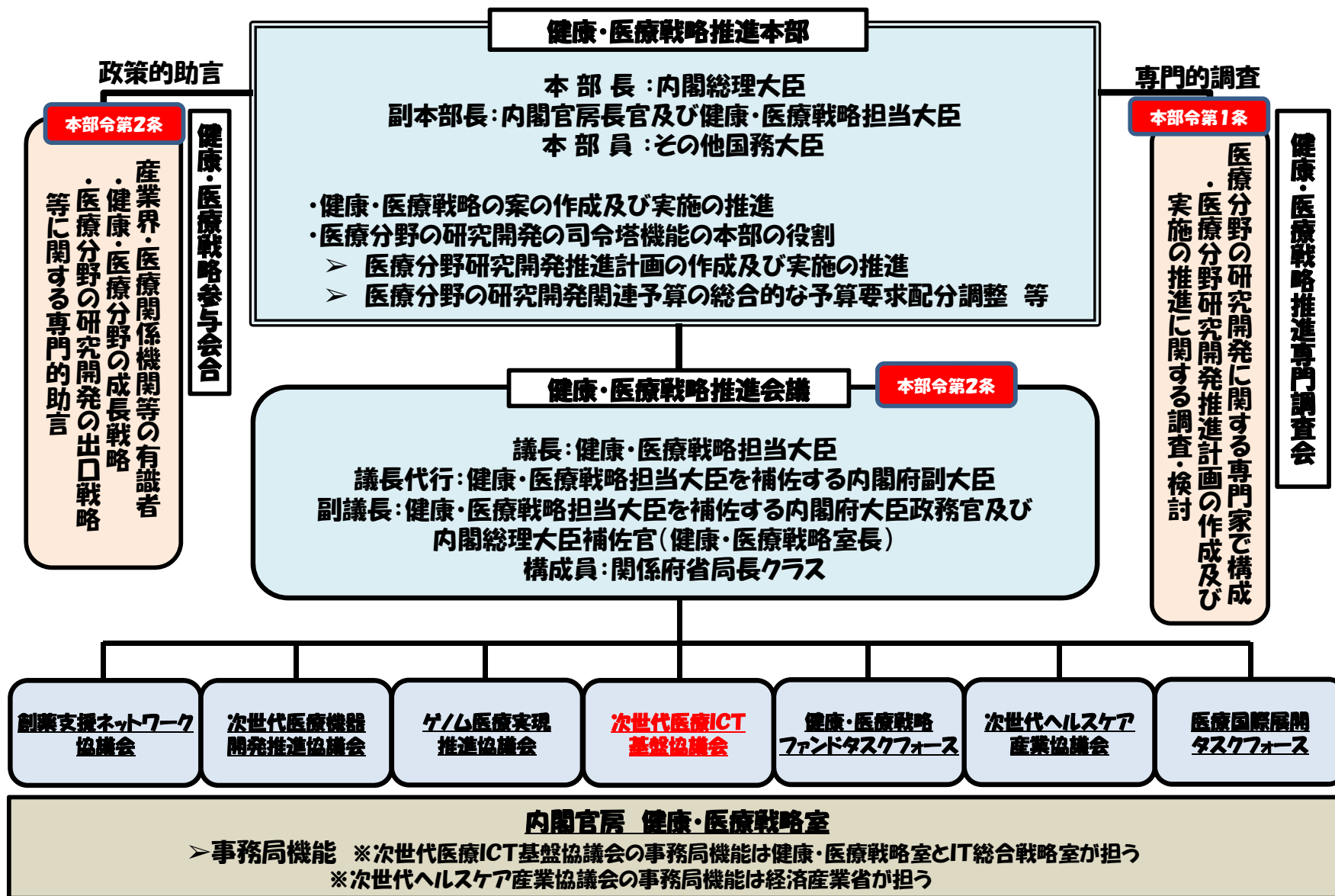


# 医療・介護・健康ICT基盤の構築

内閣官房 健康・医療戦略室

吉田 淳

# 健康・医療戦略の推進体制



# 健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定)

## 医療分野の研究開発

世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発等に関する施策を推進

## 新産業の創出

公的保険外のヘルスケアサービスを中心に健康長寿社会の形成に資する産業活動の創出に関する施策を推進

## 医療の国際展開

新興国等に対する医薬品、医療機器等及び医療技術並びに医療サービスの提供に関する施策を推進

## 医療のICT化

効率的で質の高い医療サービスの実現を図るための包括的なICT化に関する施策を推進

## 次世代医療ICTタスクフォース

⇒次世代医療ICT基盤協議会へ改組

- ①医療等現場の高度なデジタル化の推進
- ②データの標準化を含む医療デジタル基盤の構築
- ③医療行政等へのデジタル基盤の利活用
- ④マイナンバー等の番号制度基盤の活用等

## 2020年頃までの達成目標:

しセプトデータに加え、これまで利活用されていない検査データ等を含む医療・介護・健康分野のデジタル基盤を構築し、効率的で質の高い医療サービスを実現するとともに、臨床研究・治験やコホート研究を(現在は利用不可能な)医療等情報を利用することによって加速

# 医療ICT利活用の目的と将来像

参照)次世代医療ICTタスクフォース:  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouryou/jisedai/kaisai.html>

目的

持続可能な質の高い保険医療(社会保障)

新しい医療技術の創出

エビデンスベースのヘルスケア産業

情報利活用の実行

医療行政等

医療サービス

臨床研究  
コホート研究

デジタル基盤  
(医療データの収集・分析のルール・仕組みの集合体)

医療・介護・健康のデジタル基盤

医療機関におけるデジタル化

患者データ・傷病名(レセプト)

処方・検査データ

診療データ

手術・治療データ

小

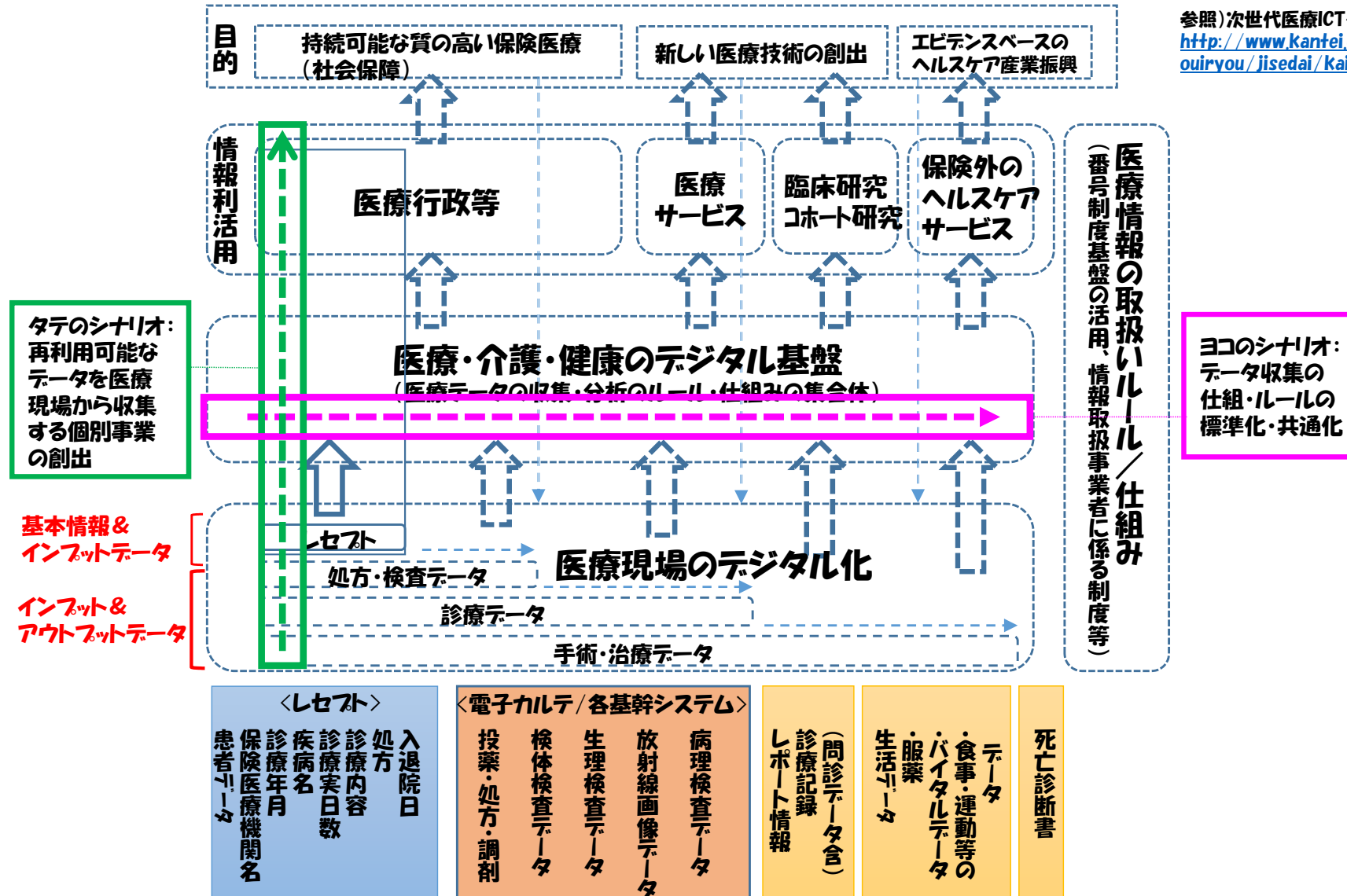
情報の複雑さ

大

世界最先端

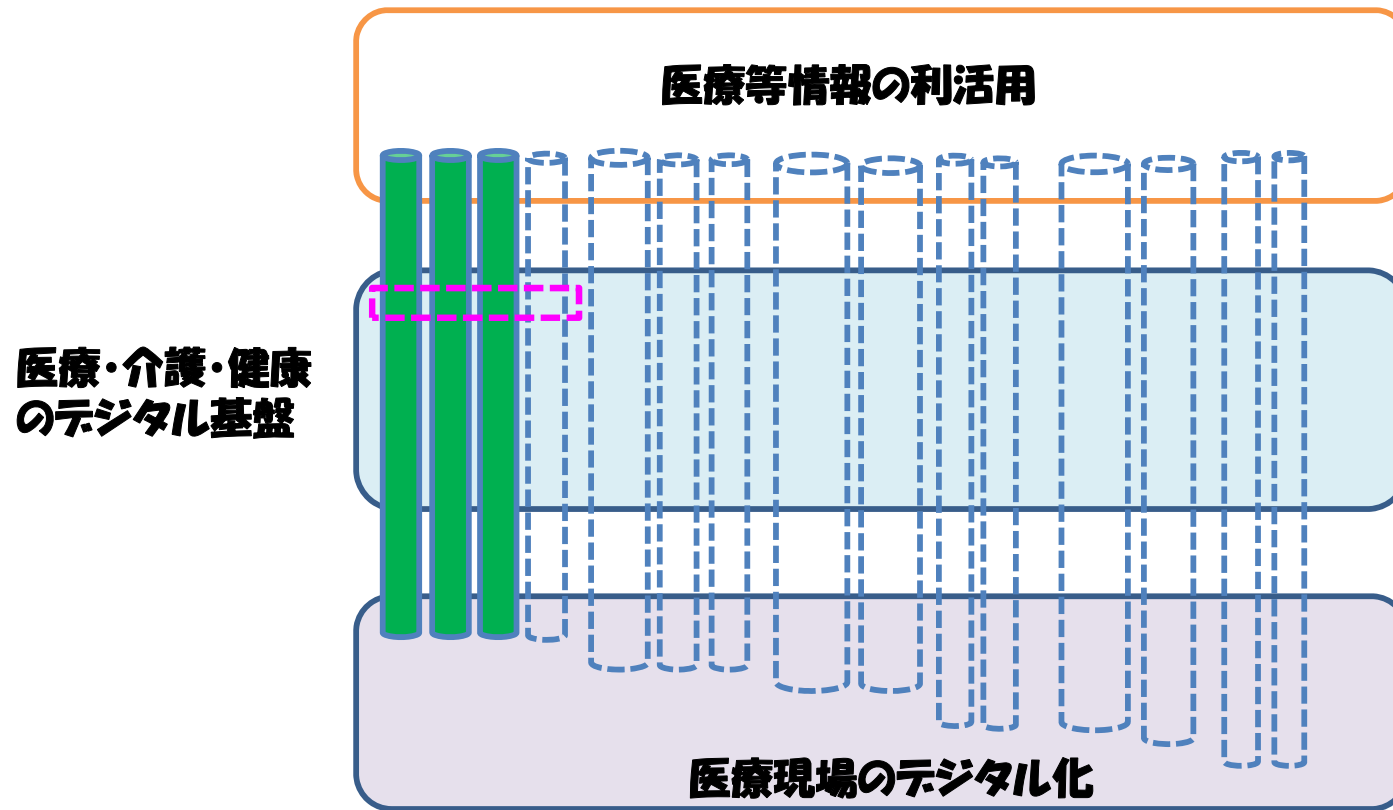
# 再利用可能なデータを網羅的に収集する仕組の構築

参照)次世代医療ICTタスクフォース:  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/jisedai/kaisai.html>



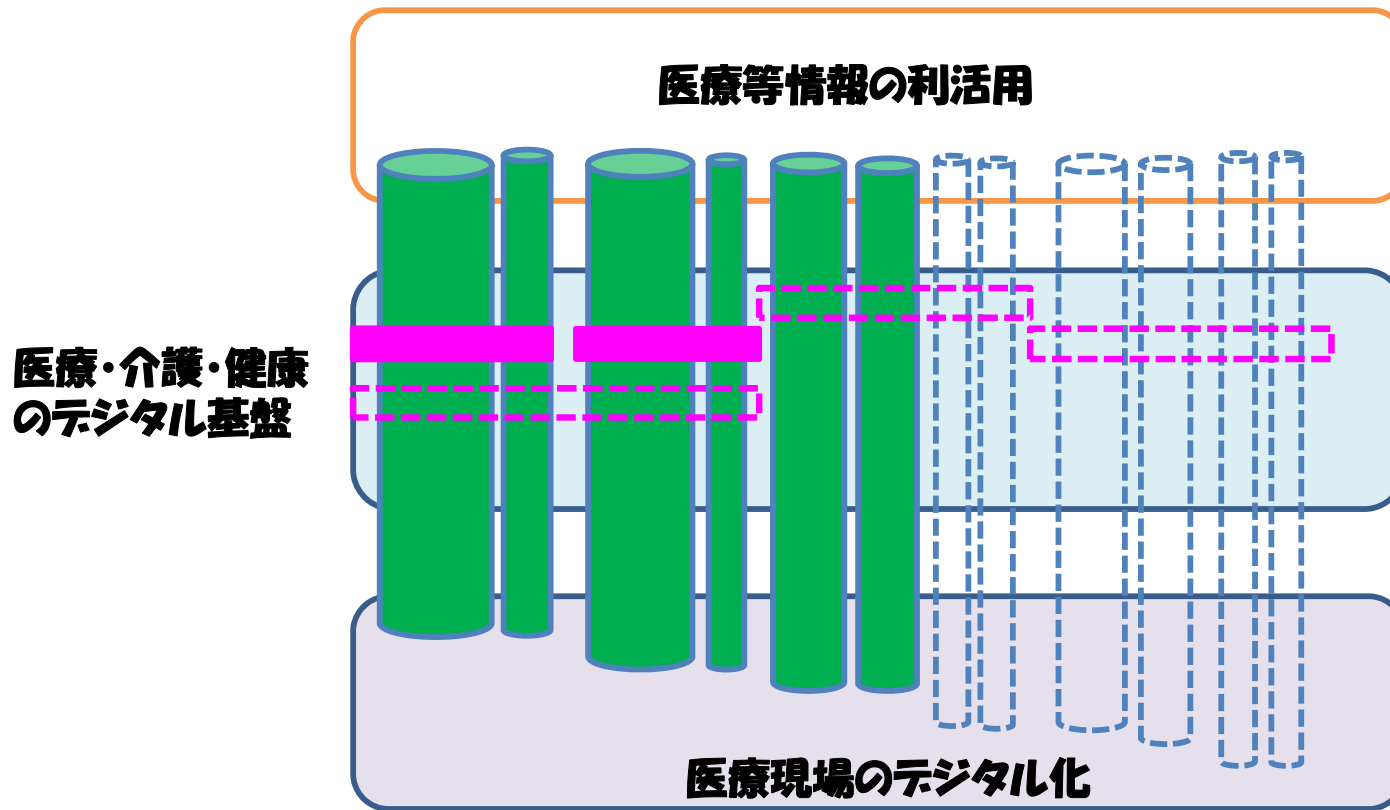
# 基盤構築のステップ(1)

- 再利用可能なデータを医療現場から収集する個別事業の創出(タテのシナリオ)
- データ収集の仕組み・ルールの特準化・共通化(ヨコのシナリオ)



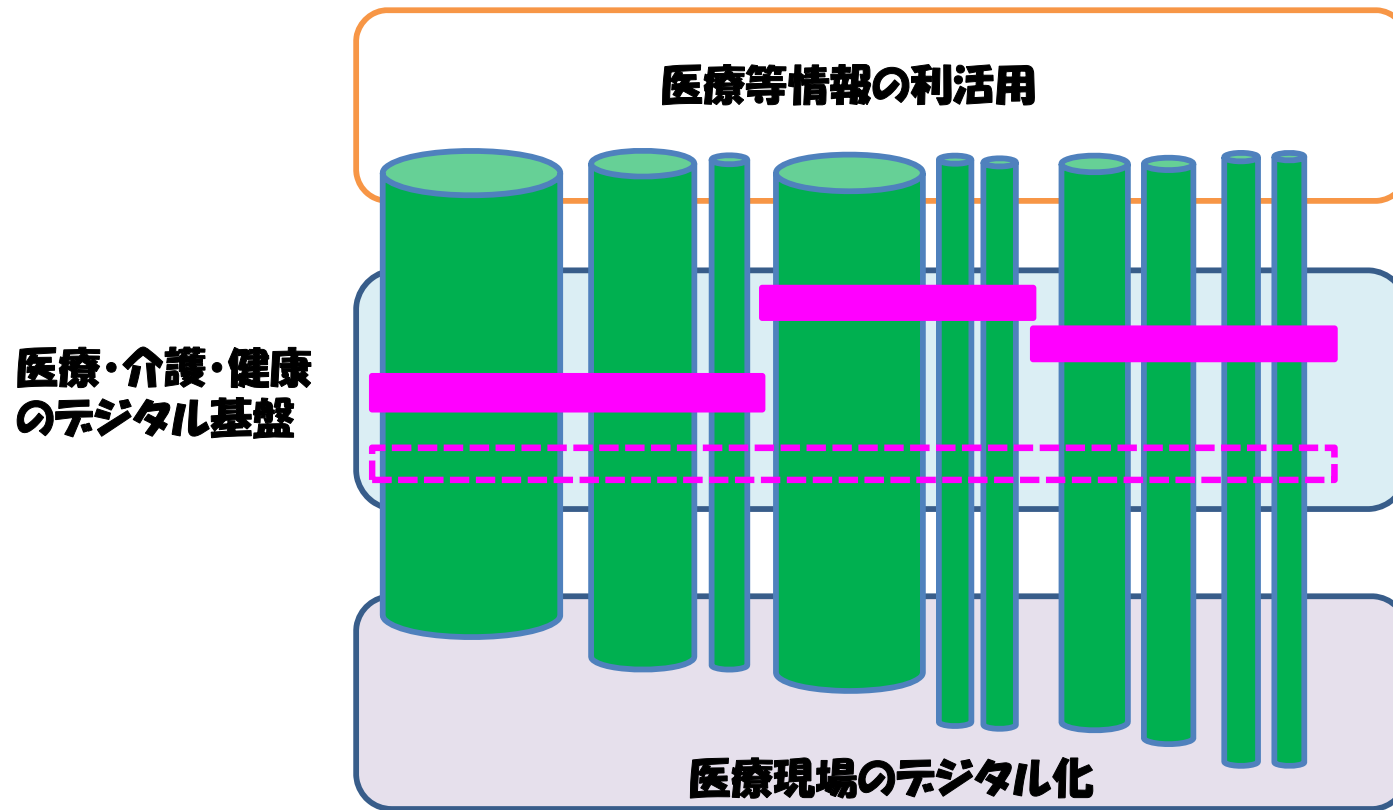
## 基盤構築のステップ(2)

- 再利用可能なデータを医療現場から収集する個別事業の創出(タテのシナリオ)
- データ収集の仕組み・ルールの特準化・共通化(ヨコのシナリオ)



## 基盤構築のステップ(3)

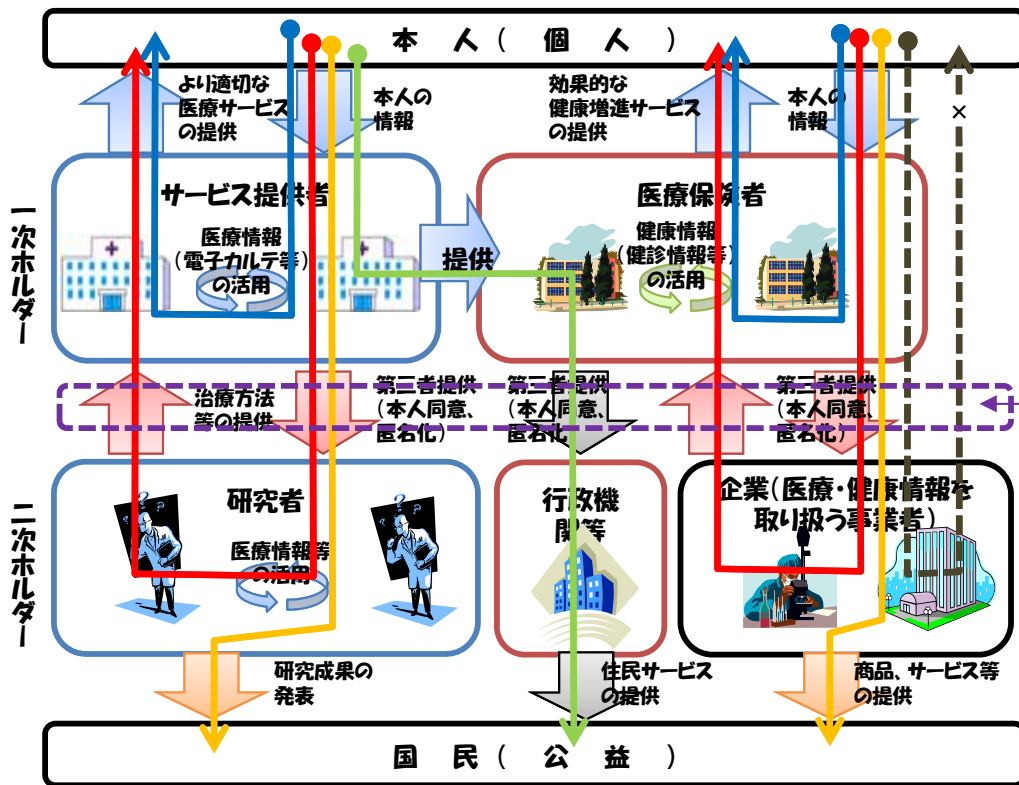
- 再利用可能なデータを医療現場から収集する個別事業の創出(タテのシナリオ)
- データ収集の仕組み・ルールの標準化・共通化(ヨコのシナリオ)





# 医療情報の流通経路の俯瞰と代理機関(仮)

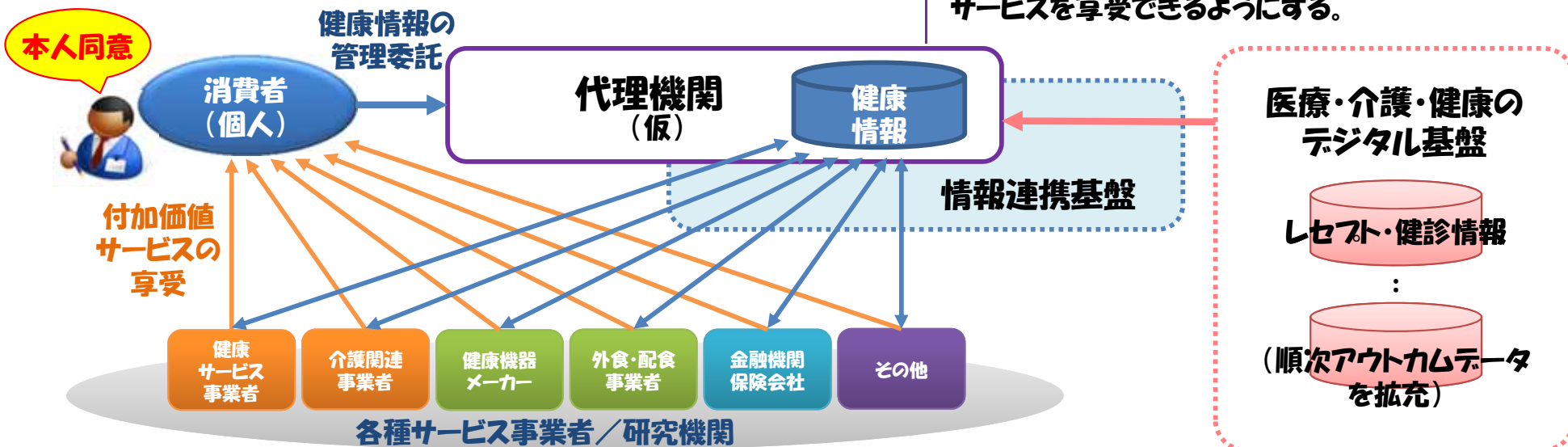
参照)次世代医療ICTタスクフォース資料より一部改編:  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/Kenkouiryou/jisedai/kaisai.html>



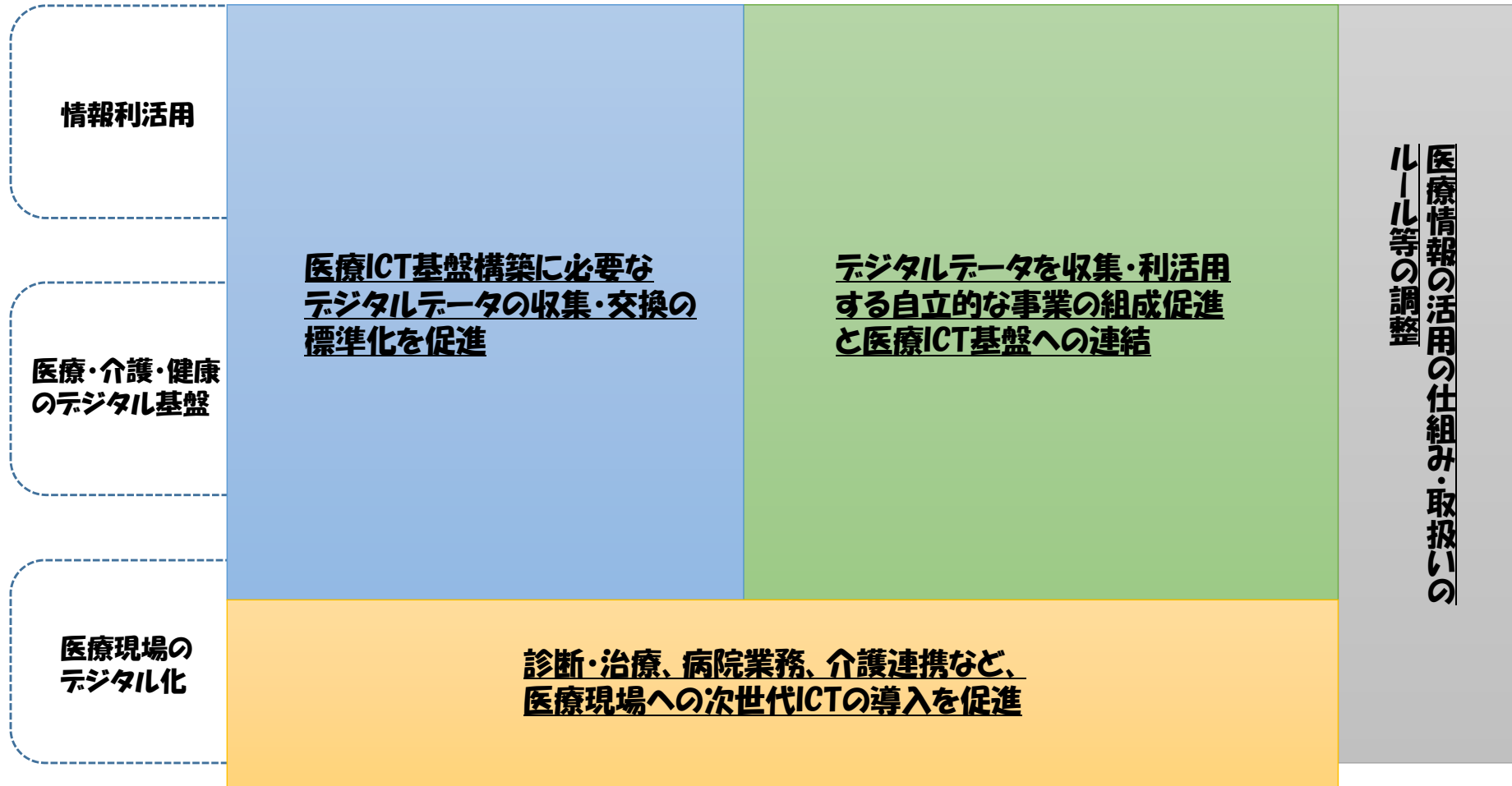
## 流通経路の類型

- ①本人から取得した情報をもとに一次ホルダーが本人にサービスを提供。
- ②本人同意を条件に第三者提供。一次ホルダー以外からサービスを提供。
- ③本人同意・匿名化を条件に第三者提供。国民に便益を還元する(企業)。
- ④本人同意・匿名化を条件に第三者提供。国民に便益を還元する(行政)。
- ⑤同意取得がない場合は、個人に還元できない。

個人の健康情報が個人に帰属することを前提として、本人同意に基づいた管理委託ができる代理機関(仮)を置く。これにより、健康情報の低廉・円滑な流通と大規模集積を図るとともに、広く国民が付加価値サービスを楽しむことができるようにする。



## 4つの作業を同時進行



## 次世代医療ICT基盤協議会の開催について

平成27年1月21日

健康・医療戦略推進会議決定

1. 健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定)等に基づき、医療・介護・健康分野のデジタル化の実現及び、デジタル基盤の構築とその利活用により、医療の質・効率性や患者・国民の利便性向上、臨床研究等の研究開発、産業競争力の強化、社会保障のコストの効率化の実現を図るため、次世代医療ICT基盤協議会(以下、「協議会」という。)を開催する。
2. 協議会の構成員は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係府省庁その他関係者の出席を求めることができる。
3. 協議会の庶務は、関係府省庁の協力を得て、内閣官房において処理する。
4. 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

## 次世代医療ICT基盤協議会 構成員

参照)健康・医療戦略推進会議第9回会合:

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/suisinkaigi/dai9/gijisidai.html>

議長  
構成員

内閣官房健康・医療戦略室長  
内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)  
内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長代理(副政府CIO)  
総務省政策統括官(情報通信担当)  
文部科学省研究振興局長  
厚生労働省大臣官房技術総括審議官  
厚生労働省保険局長  
厚生労働省政策統括官(社会保障担当)  
農林水産省食料産業局長  
経済産業省商務情報政策局長

飯塚 悦功 東京大学名誉教授  
大江 和彦 東京大学医療情報経済学教授  
大久保満男 日本歯科医師会会長  
金子 郁容 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授  
菊地 眞 公益財団法人医療機器センター理事長  
喜連川 優 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所所長  
近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長  
堺 常雄 日本病院会会長  
神成 淳司 慶應義塾大学環境情報学部兼医学部准教授  
末松 誠 慶應義塾大学医学部長  
田中 紘一 医療法人社団神戸国際フロンティアメディカルセンター理事長  
永井 良三 自治医科大学学長  
樋口 範雄 東京大学大学院法学政治学研究科教授  
福井 次矢 聖路加国際大学理事長  
堀田 知光 独立行政法人国立がん研究センター理事長  
松本 純夫 独立行政法人国立病院機構東京医療センター名誉院長  
矢作 尚久 独立行政法人国立成育医療研究センター臨床研究ネットワーク推進室室長補佐(情報戦略担当)  
山本 修一 国立大学附属病院長会議常置委員長  
山本 信夫 日本薬剤師会会長  
山本 隆一 一般財団法人医療情報システム開発センター理事長  
横倉 義武 日本医師会会長  
吉原 博幸 宮崎大学医学部附属病院病院長